

## 2018 年度第 4 回北陸公法判例研究会開催のお知らせ

秋冷の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、下記の通り今年度第 4 回研究会を開催いたします。なお、研究会終了後懇親会を開催いたします。ご出席いただける方は、11 月 13 日（火）までに山崎にご連絡くださるようお願いいたします。

### 記

日時：2018 年 11 月 17 日（土）13 時 30 分より

会場：石川県教育会館（金沢市香林坊 1 - 2 - 40）第 2 会議室（←四高記念館ではありません）

<http://kyouiku-kaikan.wixsite.com/ishikawa/home>

1. 安部 愛子（金沢大学大学院博士前期課程〔厚生労働省職業安定局（育児休業中）〕）

〔研究報告〕イギリスとドイツにおける生活保障をめぐる近年の法制度の変遷－社会保障法と労働法の相互影響の観点から

#### 【参考文献】

- ・神吉知郁子『最低賃金と最低生活保障の法規制－日英仏の比較法的研究－』（信山社，2011 年）。
- ・武田公子『ドイツ・ハルツ改革における政府間財政関係：地域雇用政策の可能性』（法律文化社，2016 年）。
- ・名古屋功『ドイツ労働法の変容』（日本評論社，2018 年）。
- ・西村淳『所得保障の法的構造－英豪両国の年金と生活保護の制度史と法理念－』（信山社，2013 年）。
- ・宮本太郎『社会的包摂の政治学－自立と承認をめぐる政治対抗－』（ミネルヴァ書房，2013 年）。

2. 土屋 仁美（金沢星稜大学）

〔研究報告〕フランスの生命医療分野の発展が健康保護に与える影響

#### 【参考文献】

- ・渋谷秀樹「生殖の自由」立教法務研究第 6 号(2013 年)83-126 頁。

- ・ 小林真紀「1994年生命倫理法判例(1994年7月27日判決)」フランス憲法判例研究会編『フランスの憲法判例Ⅱ』(信山社, 2013年)97-100頁。
- ・ 小林真紀「2004年生命倫理法判決(2004年7月29日判決)」フランス憲法判例研究会編『フランスの憲法判例Ⅱ』(信山社, 2013年)101-104頁。
- ・ 建石真公子「人工妊娠中絶法における『生命の尊重・人格の尊厳』と『女性の自由』(1975年1月1日判決, 2001年6月27日判決)」フランス憲法判例研究会編『フランスの憲法判例Ⅱ』(信山社, 2013年)107-112頁。